

宿泊研修に行ってきました！

小学部 4・5 年生は、9月14日から15日、1泊2日の日程で宿泊研修に行ってきました。今年度は、北見市常呂で活動をしてきました。1日目は、カーリング体験、那須牧場での酪農体験、サロマ湖鶴雅で温泉の入浴体験をし、ネイパル北見で宿泊しました。2日目は、ネイパル北見の研修室にて、流水窯の先生を講師として陶芸体験をし、カップや箸置きの作成をしました。カーリングや牛・犬との触れ合い、大きな温泉、陶芸体験、さらに研修施設での、布団敷きや食事のマナー等の団体行動についても学ぶことができました。子ども達が新しいことを体験するときの目の輝きや寄宿舍で身につけた生活力を発揮する場面をみることができ、心に残る宿泊研修となりました。〈文責：佐藤純平〉



陶芸体験の作品



カーリング体験



酪農体験

宿泊研修に行ってきました！

高等部 1 年生は、8月31日から9月1日、2泊3日の日程で宿泊研修に行ってきました。

1日目はきたみ学園でパンづくり体験をしました。お昼は北見支援学校で中学部時代の同級生との再会もありました。その後はハッカ記念館を見学しました。2日目は、2グループに分かれ、北網圏北見文化センターを見学したり、北見市内の事業所を見学したりしました。午後からは東武イーストモールで買い物をしました。3日目は、東京農業大学のキャンパス見学＆学食で昼食をとりました。その後オホーツク流水館で見学・体験をしました。色々な体験や見学を友達と一緒にすることができ、思い出に残る旅行となりました。

〈文責：杉本〉



「えがおをとどける 学校祭」

スローガン「えがおをとどける 学校祭」の元、第43回学校祭が、天候にも恵まれ10月29日（土）に行われました。

児童生徒一人ひとりが、それぞれの“えがお”を届けられるように日々学習し取り組んできたことを発揮できたと感じています。又、保護者の皆様からは児童生徒の頑張りをたたえる励ましや称賛の拍手をたくさんいただきましてありがとうございました。作品展示、PTA バザー、おやじの会カレー等へのご協力もありがとうございました。

学校祭を経て、一回り大きく成長したことと思います。今後もより一層、えがおをとどけられるよう日々の学習活動へつなげていきたいと思っています。

〈文責：小野〉

学校祭 大成功!!!

今年の小学部の演目は『呼人の丘のかぐや姫』と題して行われました。昔話の「かぐや姫」をベースにアレンジを加え、小学部らしさがいっぱいだった演目となりました。

まず、小学部3人娘が、かぐや姫の誕生から成長までを見事に演じ舞台に花を添えてくれましたし、おじいさんや家庭教師、求婚する若者、帝の側近と、それぞれの得意なことや新たにできるようになったことを、たくさんのお客さんの前で発表できたことも、子どもたちの自信につながったと思います。訪問学級のお友達が当日参加できなかったことだけが残念ですが、素敵なVTRで会場を沸かせてくれました。また、たくさんの拍手で舞台を盛り上げてくださった皆様、ありがとうございました。



〈文責：小久保〉

浦島きょうだい

今年度の中学部は浦島太郎の物語をアレンジした「浦島兄弟」の演目を行いました。浦島兄弟が子亀を助けたことから親亀に竜宮城へ招待され、乙姫さまや水の中で生きている魚や蛙に歓迎の宴を開いてもらいながらみんな仲良く、楽しく物語が進行していきます。

グループ練習から全体練習まで、一人一人が自分

の役割、活動をしっかり練習できたと思います。一人一人が最後までしっかり役割を務め、素晴らしい時間を過ごすことができました。道具作りやポスター作りも含め、協力して作り上げていった感動や達成感などを今後の学習に活かして行ってほしいと思います。

〈文責：合田〉



「高等部学校祭販売会」

10月29日（土）、晴天の中、第43回学校祭が開催されました。

高等部は、園芸1班、園芸2班、手芸班、紙工班、訪問学級のそれぞれに分かれ、販売会を開催しました。お客様に喜んでもらえる販売会にと、各班で当日に向け、一生懸命に製品づくりや接客練習に取り組んできました。

学校祭当日は、保護者の皆様をはじめ、たくさんのお客様に販売会へ足をお運びいただきましてありがとうございました。心をこめて作った製品を、日頃お世話になっているたくさんの方々に手にとっていただいたことで、生徒一人ひとりが大きな喜びと達成感を感じられたことと思います。

たくさんの笑顔と優しい心にあふれた販売会。ご来場、ありがとうございました。〈文責：廣瀬〉



〈編集後記〉

9月の行われた行事と10月29日に行われた学校祭の児童生徒の成長した様子をお伝えしました。すべての児童生徒が、それぞれの力を発揮した素晴らしい学校祭となりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

（文責：杉本）